



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	137,515	△3.0	8,786	△1.0	9,700	△3.2	5,784	△4.6
2023年3月期第1四半期	141,717	3.5	8,876	5.6	10,021	15.0	6,062	9.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,218百万円(△6.5%) 2023年3月期第1四半期 9,855百万円(36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 99.35	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	103.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	485,273	273,137	55.6
2023年3月期	481,661	272,532	55.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 269,912百万円 2023年3月期 269,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	84.00	—	84.00	168.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	281,800	△2.6	17,700	△7.5	18,000	△17.6	11,300	△18.6	193.18
通期	568,000	△1.9	37,000	△3.1	37,000	△6.6	24,500	△1.8	418.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	61,757,978株	2023年3月期	61,757,978株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	4,030,755株	2023年3月期	3,262,953株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	58,223,899株	2023年3月期1Q	58,496,439株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

「山九のユニーク」マーク

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ後のリバウンド需要がけん引している一方、製造業・デジタル関連財の貿易停滞、インフレ率の高止まり等引き続き不透明な状況が続きました。米国では、資金調達環境の悪化から設備投資に低迷がみられるものの、雇用情勢が良好につき個人消費は底堅く推移しています。中国では、ゼロコロナ政策解除後、不動産市況・サービス消費の回復が続いておりますが、製造業の回復鈍化、輸出の減速の動き等により景気回復ペースは緩やかになっております。東南アジアでは、インバウンド需要の回復、サービス業の雇用者回復により内需シェアが高い国々で経済成長が好調に推移しました。国内経済では、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、活動制限廃止によるサービス消費の緩やかな拡大、供給制約の緩和で自動車販売が上向く等個人消費が回復、設備投資においてもデジタル化投資等が顕在化しております。

このような経済情勢の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,375億15百万円と前年同四半期比3.0%の減収、利益面においては営業利益が87億86百万円と1.0%の減益、経常利益が97億円と3.2%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益が57億84百万円と4.6%の減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾国際では、国内の海上コンテナ取扱いの減少やこれに伴うヤード内作業・保管作業が減少しました。また、国内外での海上・航空運賃の下落および輸出入取扱いが低調に推移しました。3PL一般では、中国域内での自動車部品・消費財等の輸送作業等が低調に推移し、国内では消費財等の取扱いが減少となりました。一方、化成品の取扱いは増加しました。構内では、国内客先の単価改定の進展や、国内外での構内作業が増加しました。

以上の結果、物流事業全体の売上高は701億46百万円と前年同四半期比5.7%の減収、セグメント利益（営業利益）は24億80百万円と前年同四半期比1.1%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は51.0%であります。

② 機工事業

設備工事での鉄鋼・化学関連設備建設工事の増加はあるものの、昨年度完工した鉄鋼関連改修工事やインフラ設備の建設工事等の剥落に加え、メンテナンスでは国内SDM（大型定期修理工事）の工事量がマイナー年による影響で減少しました。

以上の結果、機工事業全体の売上高は609億80百万円と前年同四半期比0.7%の減収、セグメント利益（営業利益）は58億8百万円と前年同四半期比3.8%の減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は44.3%であります。

③ その他

道路・付帯設備の補修工事量が増加したことに加え、システム開発案件の受注・機器販売が増加しました。

以上の結果、その他全体の売上高は63億87百万円と前年同四半期比8.8%の増収、セグメント利益（営業利益）は4億71百万円と前年同四半期比50.8%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.7%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,519億65百万円であり、前連結会計年度末に比べ13億36百万円、0.5%増加しました。主な要因は、前払費用の増加等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,333億7百万円であり、前連結会計年度末に比べ22億75百万円、1.0%増加しました。主な要因は、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,218億49百万円であり、前連結会計年度末に比べ49億88百万円、4.3%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的としたコマーシャル・ペーパーの発行等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は902億85百万円であり、前連結会計年度末に比べ19億82百万円、2.1%減少しました。主な要因は、長期借入金の減少等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,731億37百万円であり、前連結会計年度末に比べ6億5百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定の増加等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.3ポイント下回る55.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)業績および通期の業績見通しにつきましては、現在のところ2023年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,118	48,427
受取手形、売掛金及び契約資産	185,423	185,585
有価証券	1,548	1,578
未成作業支出金	1,273	1,341
その他の棚卸資産	2,220	2,285
その他	9,266	12,973
貸倒引当金	△221	△226
流動資産合計	250,629	251,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,680	70,079
土地	58,337	58,403
その他（純額）	41,884	38,185
有形固定資産合計	166,901	166,668
無形固定資産		
のれん	204	66
その他	7,075	7,021
無形固定資産合計	7,280	7,088
投資その他の資産		
投資有価証券	27,014	30,520
その他	30,291	29,471
貸倒引当金	△454	△440
投資その他の資産合計	56,850	59,551
固定資産合計	231,032	233,307
資産合計	481,661	485,273

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,864	44,356
短期借入金	8,551	9,335
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	9,573	3,905
契約負債	1,453	1,452
賞与引当金	10,951	2,330
その他	37,466	30,469
流動負債合計	116,861	121,849
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	25,675	23,958
退職給付に係る負債	30,892	30,830
その他	20,699	20,495
固定負債合計	92,267	90,285
負債合計	209,128	212,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,715
利益剰余金	221,027	222,156
自己株式	△9,124	△12,868
株主資本合計	253,238	250,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,500	11,828
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	△46	△71
為替換算調整勘定	3,822	4,854
退職給付に係る調整累計額	2,771	2,676
その他の包括利益累計額合計	16,046	19,288
非支配株主持分	3,247	3,225
純資産合計	272,532	273,137
負債純資産合計	481,661	485,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	141,717	137,515
売上原価	126,777	122,257
売上総利益	14,939	15,257
販売費及び一般管理費	6,062	6,470
営業利益	8,876	8,786
営業外収益		
受取利息	80	175
受取配当金	428	486
為替差益	774	274
その他	346	356
営業外収益合計	1,629	1,293
営業外費用		
支払利息	125	147
その他	359	231
営業外費用合計	484	379
経常利益	10,021	9,700
税金等調整前四半期純利益	10,021	9,700
法人税等	3,881	3,817
四半期純利益	6,139	5,883
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,062	5,784

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,139	5,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	2,330
繰延ヘッジ損益	△6	0
為替換算調整勘定	3,967	1,094
退職給付に係る調整額	△92	△90
その他の包括利益合計	3,715	3,335
四半期包括利益	9,855	9,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,647	9,051
非支配株主に係る四半期包括利益	208	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当社普通株式767,600株を37億43百万円にて取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は128億68百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,414	61,429	135,844	5,873	141,717	—	141,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	763	990	1,754	390	2,145	△2,145	—
計	75,178	62,420	137,598	6,263	143,862	△2,145	141,717
セグメント利益	2,453	6,035	8,489	312	8,802	74	8,876

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額74百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	70,146	60,980	131,127	6,387	137,515	—	137,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	964	910	1,875	452	2,327	△2,327	—
計	71,111	61,890	133,002	6,840	139,843	△2,327	137,515
セグメント利益	2,480	5,808	8,288	471	8,759	26	8,786

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額26百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。